

第3回地域公共交通会議以後の主な修正点

・計画書の構成について

-約 90 ページあった計画書を分割し、計画編、資料編の 2 冊とし、計画編自体は 30 ページほどに集約しました。

【計画編】

・P31：数値目標について

-数値目標の内容について、再検討し、以下のように変更しました。

基本方針	変更前（第3回公共交通会議時点）			変更後		
	番号	評価指標	数値目標	番号	評価指標	数値目標
			目標値 2024年度 (令和6年度)			目標値 2024年度 (令和6年度)
Ⅰ 既存のニーズと交通機関を活かした基幹交通の再編	①	路線バスの年間利用人数（路線バス利用者数） ※事業者データによる	250,000人/年	①	路線バスの年間利用人数（路線バス利用者数） ※事業者データによる	250,000人/年
	②	バスの現状に対する満足度（総合評価） ※利用者アンケート調査による ※5段階評価	3.5		②	実証運行の満足度 ※利用者アンケートによる ※5段階評価
Ⅱ 幅広い交流を目指した公共交通網の形成	③	実証運行の満足度 ※利用者アンケートによる ※5段階評価	3.5	③	バスの現状に対する満足度（総合評価） ※利用者アンケート調査による ※5段階評価	3.5
Ⅲ 持続可能な公共交通の推進	④	地域公共交通に関するイベント・講習会の開催	4回 ※2020年（令和2年）を準備期間とし、2024年（令和6年）まで年間1回開催	④	交通空白地域解消に向けた施策として、支線交通を導入・改善した新規案件	1件
Ⅳ 地域の特性に応じた交通モードによる支線交通の形成	⑤	支線公共交通手段の新規導入（地元住民主導による導入）	1件			

【資料編】

・P15～P20：各公共交通の利用状況について

- 運行収支については、削除しました。
- 乗車数などを更新しています。

・P52：交通空白地域の考え方について

- 資料編に考え方と図をまとめています。

